

### 3. ちばの食育推進の指標と目標値

ちばの食育推進の基本理念を達成するためには、行政機関だけでなく、ちば食育ボランティアや食育活動団体をはじめ、多くの関係者が共通した理解の下、共通の目標に向かって一体となって取り組んでいくことが重要です。

本計画では、施策や事業が実施されたことにより、食育が県民にどの程度浸透し、県民の生活や行動、社会がどのように変化し県民のニーズに寄与したのかを把握し、その成果を客観的に評価できるよう、総合的な指標と目標値を設定します。

#### 食育の県民への浸透度を総合的に評価するための指標と目標値

指標項目	現状値 (年度)	目標値 (目標年度)	出典
食育推進の総合的な指標			
食育に関心のある県民の割合の増加	76.2% (H18)	90%以上 (H22)	
朝食を欠食する県民の割合の減少 (小学5年生)	2.9% (H19)	0%を目指す (H22)	
〃 (中学2年生)	7.0% (H19)	0%を目指す (H22)	
〃 (15～19歳:男子)	22.7% (H17)	0%を目指す (H24)	
〃 (15～19歳:女子)	4.2% (H17)		
〃 (20歳代男子)	44.8% (H17)		
〃 (20歳代女子)	31.3% (H17)		
〃 (30歳代男子)	37.3% (H17)		
〃 (30歳代女子)	23.3% (H17)	15%以下 (H24)	
食育に関する活動や行動を実践している県民の割合の増加	43.9% (H18)	60%以上 (H22)	
毎日朝食を摂るなど規則正しい食生活に努めている県民の割合の増加	86.1% (H19)	90%以上 (H22)	
家族や友人と食卓を囲み、食事を楽しむ機会を増やすなど、食を通じたコミュニケーションを充実させている県民の割合の増加	73.6% (H19)	90%以上 (H22)	
市町村食育推進計画を作成・実施している又は作成中の市町村の増加	4市町村 (H20.8)	全市町村を目指す (H22)	

目標項目	現状値 (年度)	目標値 (目標年度)	出典
学校・保育所等における食育の充実			
食に関する指導全体計画を作成している学校の割合の増加(公立小学校・中学校・特別支援学校・夜間定時制高等学校)	39.7% (H18)	60%以上 (H22)	
「いきいきちばっ子」学習ノートを授業に活用している小学校の割合の増加	86.4% (H18)	100% (H22)	
学校給食における県産物の使用割合の増加(食材数ベース)	23% (H17)	全国上位を 目指す (H22)	
学校給食における主要な県産農産物の使用割合の増加(重量ベース)	86.7% (H18)	増加 (H22)	
完全給食を実施している公立学校における1週間あたりの米飯給食実施回数の増加(公立小学校・中学校・特別支援学校・夜間定時制高等学校)	週平均 3.2回 (H18)	全国トップレベルの週平均実施回数を目指す (H22)	
地域、家庭、学校が連携して子どもを育てているという環境が整っているという肯定的に回答する保護者や地域住民の割合	80.4% (H19)	増加 (H22)	
近隣の学校や地域の保健センター、公民館等との食に関する連絡協議会等がある割合の増加	15.8% (H18)	30%以上 (H22)	
小学生の肥満傾向児の割合の減少	8.7% (H19)	8.5%以下 (H22)	
食育の計画づくりに取り組んでいる保育所の割合の増加	77.9% (H18)	90%以上 (H22)	
食を選択できる力の養成			
食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている県民の割合の増加	64.9% (H18)	70%以上 (H22)	
外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にする者の割合を増加	52.8% (H19)	60%以上 (H24)	
生産者と消費者、都市と農村の交流			
教育ファームの取組がなされている市町村の割合の増加(市町村、学校、農林漁業者等の様々な主体のうち、2つ以上の主体が教育ファームに取り組む市町村)	45% (H18)	60%以上 (H22)	
観光農林漁業入込数	389万人 (H18)	400万人 (H22)	
地域の伝統的な食文化の理解と食習慣の伝承			
郷土料理や伝統食について「知っているものがある」、「食べたことがある」県民の割合の増加	60.0% (H19)	80%以上 (H22)	
千産千消の推進			
「千葉県産農産物」を購入したいと思う県民の割合の増加	78.1% (H19)	80% (H20) さらに増加 (H22)	

指標項目	現状値 (年度)	目標値 (目標年度)	出典
環境への配慮			
ごみを少なくする配慮や工夫をし、リサイクルをしている県民の割合の増加	76.9% (H18)	増加 (H22)	
食べ残しを減らす努力をしている県民の割合の増加	88.3% (H19)	増加 (H22)	
健康づくりの推進			
内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)を認知している県民の割合の増加	内容を知っている 76.6% (H19)	内容を知っている 80%以上 (H24)	
自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思う県民の割合の増加	47.8% (H19)	増加 (H22)	
自分や家族の健康について満足していると思う県民の割合の増加	51.1% (H19)	増加 (H22)	
「食事バランスガイド」等の食生活上の指針を参考に食生活を送っている県民の割合の増加	37.0% (H18)	60%以上 (H22)	
栄養バランスの優れた「日本型食生活」の実践、野菜摂取量を増やす、油の多いものを控えるなど、栄養バランスに気をつけている県民の割合の増加	82.5% (H19)	90%以上 (H22)	
自分の食生活に問題があると思う者のうち、改善意欲のある者の割合の増加	成人男性 74.7% 成人女性 85.6% (H19)	成人男性 85%以上 成人女性 87%以上 (H22)	
「日頃から日常生活の中で、健康の維持・増進のために意識的に体を動かすなどの運動をしている人」の増加	成人男性 64.2% 成人女性 61.0% (H19)	男女ともに 74%以上 (H22)	
自らも料理に取り組んでいる県民の割合の増加	70.1% (H19)	増加 (H22)	
健康ちば協力店数の増加	851店 (H20.3)	1,200店 (H22)	
食育推進運動の展開			
食育の推進に関わるボランティアの数の増加	5,081名 (H19)	増加 (H22)	
ちば食育ボランティアの活動報告数の増加	633件 (H18)	20%増 (H22)	
食育推進にかかわるボランティア活動への参加意欲のある県民の割合の増加	40.1% (H19)	45%以上 (H22)	

出典	
県政に関する世論調査	千葉県生活習慣に関するアンケート調査
千葉県健康・栄養調査	観光入込調査
学校給食栄養報告	定期健康診断の統計
学校給食基本調査	空欄：関係課の独自調査等による





広げよう！  
ちばの食育

# ちばの食育

千葉県では、『ちば「食へのこだわり」県民づくりプロジェクト』を組織して、子どもたちから「食」や「農」について、正しい知識と理解を深めながら、自ら考え、健全な食生活を身につけられるよう「食育」の取組を学校や地域、家庭などで推進しています。



## 食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」作成事業

「いきいきちばっ子ノート」を県下の小学校の新1,3,5年生に配布し、活用を進めています。

## ちばっ子元気に食と農の体験事業

県の特産物を育て、調理し、食し、その体験を通じて、つくる喜びや命の大切さを学ぶ体験学習を実施しています。



## 千葉の食文化まるごと体験

千葉の食文化講習会や郷土料理の製作体験や映像記録作成を行い、食文化の由来や重要性を伝えています。

## 食と農と産業モデル事業

「食育探検ツアー」を実施し、生産から流通の現場を訪れます。地元特産物の収穫体験や郷土料理などの調理体験など、メニュー満載の小学生親子対象のバスツアーです。



## 「おさかな普及員」の派遣

小中学校の食育授業や高等学校の調理実習等へおさかな普及員を派遣します。

## 「食の源」探訪・体験事業

小中学校を対象に「魚」の生産から消費まで体験するツアーです。

## 「乳幼児おさかなレシピ」の作成

親子で楽しめる乳幼児おさかなレシピ（離乳食用～幼児向け）を作成します。



## ちばのいちばん

野菜編 全国1位  
ねぎ、だいこん、かぶ、えだまめ、さといも など  
水産物編 全国1位  
スズキ類  
カタクチイワシ  
平成19年度統計による



## ちば食育ボランティア・ちば食育サポート企業の登録

学校や地域などで、幅広い分野で食育活動を支援していただける方や企業を「ちば食育ボランティア」・「ちば食育サポート企業」として登録しています。

ボランティア数

5,081名

サポート企業数

122社



## ちばの食育ホームページ

「食」や「食育」に関する情報を広くお知らせするためにホームページを開設し、食の大切さや健全な食生活の実現、農林水産物の情報、また、食育に取り組む皆さんの情報交流の場「食育活動ネット」を設置しています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/syokuiku/>



## 子どもの健康づくり事業

- ・「かむ力を育てる乳幼児の食事」配布  
かむ力の育成支援となる離乳食について冊子を作成し配布しています。
- ・学童期からの生活習慣病予防事業  
学校・市町村・地域が協働して取り組むモデル事業です。
- ・学生考案のコンビニ弁当コンテストの開催
- ・元氣なちばっ子かむ機能発達支援事業  
養護教諭等の研修会を実施します。
- ・若年者のための健康づくり推進事業  
地域で学校と連携し「食と健康教室」を開催します。



## 家庭に届けるちばの味づくり

- ・「健康ちば協力店」の登録推進  
栄養の表示、ヘルシーメニューの提供、ヘルシーオーダーへの対応等ができる健康ちば協力店を増やし、食の環境づくりを行います。
- ・ヘルシーメニュー10番勝負  
外食・中食のヘルシーメニューを募集・表彰します。
- ・プロの料理人とつくるヘルシーメニュー-ちばの味事業  
プロの料理人による料理教室を開催。

第3回食育推進全国大会出展ポスター  
(平成20年6月7・8日：群馬県)